

## 内航船舶輸送統計速報 (令和2年6月分)

### 1. 概況

総輸送量は、23,717千トン（対前年同月比16.4%減）、12,568百万トンキロ（対前年同月比10.9%減）であり、大型鋼船は14,855千トン（対前年同月比14.9%減）、9,044百万トンキロ（対前年同月比8.5%減）、小型鋼船は7,372千トン（対前年同月比18.9%減）、3,272百万トンキロ（対前年同月比16.5%減）であった。

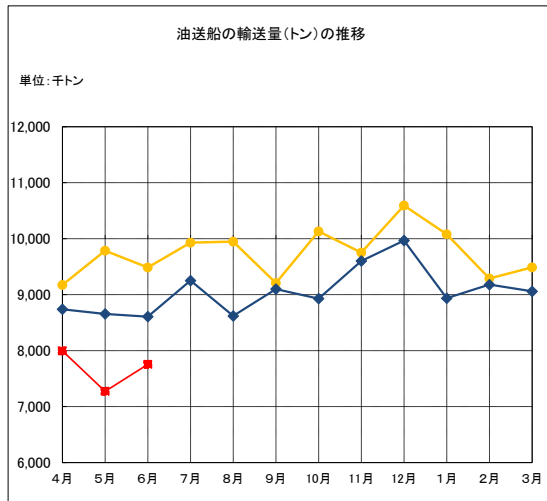
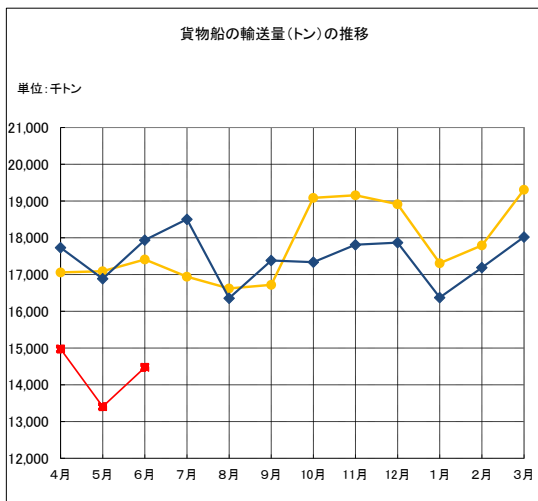
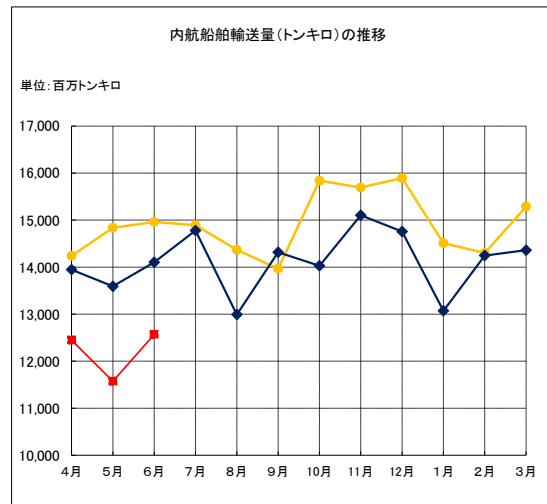
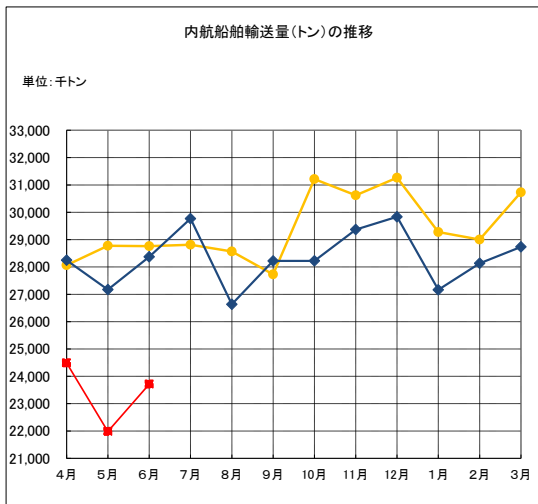
貨物船は14,472千トン（対前年同月比19.3%減）、7,774百万トンキロ（対前年同月比15.4%減）であった。

油送船は7,754千トン（対前年同月比9.9%減）、4,542百万トンキロ（対前年同月比1.5%減）であった。

プッシュャーバージ・台船は1,491千トン（対前年同月比18.4%減）、252百万トンキロ（対前年同月比17.2%減）であった。

### 2. 用途別輸送実績

項目	トン数 (千トン)	前年同月比 (%)	トンキロ (千トンキロ)	前年同月比 (%)
合計	23,717	83.6	12,568,292	89.1
大型鋼船	14,855	85.1	9,044,441	91.5
小型鋼船	7,372	81.1	3,272,108	83.5
プッシュャーバージ・台船	1,491	81.6	251,743	82.8
貨物船	14,472	80.7	7,774,427	84.6
油送船	7,754	90.1	4,542,122	98.5
プッシュャーバージ・台船	1,491	81.6	251,743	82.8



凡例：● 平成30年度（2018年度） ◆ 令和元年度（2019年度） ■ 令和2年度（2020年度）

本速報値の総輸送量は、「内航船舶輸送統計調査（基幹統計調査）」の調査対象事業者のうち、一定の期日までに提出のあった事業者の実績を用いて、過去半年分の当該事業者分と全体の輸送量の比率を以て推計した値である。また、全体の輸送量の内訳である用途別については、過去半年分の内訳の比率を用いて按分したものである。

そのため、「内航船舶輸送統計月報」における推計方法とは異なるので留意されたい。なお、確報値は、「内航船舶輸送統計月報」として追って公表する。

#### お問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

TEL：03-5253-8111 FAX:03-5253-1567

担当：小林、西岡（内線 28-743）